

2022年6月16日

株式会社博報堂DYホールディングス

博報堂DYグループ独自のAI技術で低画質映像を高解像度にアップグレードする
「H-AI UpRes」の提供開始
～「Creative technology lab beat」第四弾プロダクト～

株式会社博報堂DYホールディングス（本社：東京都港区、代表取締役社長：水島正幸、以下博報堂DYホールディングス）のグループ横断型の研究開発組織「Creative technology lab beat」（クリエイティブ・テクノロジー・ラボ・ビート 以下 beat）の一翼を担う株式会社博報堂DYメディアパートナーズは第四弾プロダクトとして、AI/XR領域に強みを持つイスラエルのスタートアップ企業 AUGMIND（オーグマインド）社と共同開発したAI技術を活用し、低画質映像を高解像度にアップグレードするサービス「H-AI UpRes」（エイチ・エーアイ・アップレズ）の提供を開始しましたので、お知らせいたします。

H-AI UpRes

5G や SVOD（Subscription Video on Demand：定額制動画配信）の普及により、高画質の動画コンテンツの需要が増加している昨今、企業の過去の映像コンテンツにも注目が集まっています。しかし、過去の価値のある映像が低解像度であったり、データの劣化によりその価値を発揮できないといった課題を抱える企業が数多く存在しており、一方で高画質にするためのAIによる映像処理はコストがかかりすぎるという課題もありました。

「H-AI UpRes」は、AI技術で低画質の映像を高解像度化（アップレズ）するサービスです。AIの機械学習により映像の分析を行い、劣化補正や色彩補正をかけた上で高解像度化を行います。コンテンツ毎にカスタマイズされたAIアルゴリズムの自動修正に加え、映像クリエイティブの審美眼を持ったAUGMINDの専属クリエイターがポスト・プロダクションで低画質の映像を修正をすることで、最適化されたアウトプットを実現することが可能になりました。TV番組/CM・映画・アニメ・NFT動画などの幅広い映像コンテンツに対応します。

価値のある映像を保有するメディアやIPホルダーなどのコンテンツ企業をサポートし、クライアント企業との実証実験も開始する予定です。

今後もbeatでは、映像AIツールの研究や開発、クリエイティブ業務のワークスタイル研究を進め、世の中を魅了するクリエイティブを生み出し、生活者や社会にとって魅力的なコミュニケーション体験を提供してまいります。

【「H-AI UpRes」の特長】

- ・低画質／低ビットレート（720p や 2K テレシネ画質）で保存されたアーカイブを、高画質／高ビットレート（4K 画質）に安価にコンバートでき、デジタルノイズ、フィルムのダストやスクラッチ等も除去可能
- ・ソフトウェアで簡易的に画素数を高めるのではなく、コンテンツごとに AUGMIND の専属クリエイターがアルゴリズムをカスタマイズして作成し、ポスト・プロダクションまで行うことで、IP ホルダーのニーズに応えた仕上がりに行うことができる
- ・フレームレートの追加変換も対応可能



アップレゾイメージ：AI の機械学習で高画質化およびダスト除去を行い、最適なアルゴリズムと専属クリエイターの修正によりコンテンツに適した調整を行う

【Creative technology lab beat とは】

クリエイティブ領域における AI 技術の産学連携の学術研究からプロダクト開発、クリエイティブ業務のワークスタイル変革までを担う、博報堂 D Y グループ横断型の研究開発組織。「beat」では、産学連携の学術研究やテキスト認識、動画認識、画像認識、3DCG などの自動生成 AI ツールの開発、クリエイティブ制作業務のワークスタイル研究を進め、世の中を魅了するクリエイティブを生み出し、生活者や社会にとって魅力的なコミュニケーション体験を提供してまいります。

beat Web サイト：<https://ctl-beat.com/>



【本件に関するお問い合わせ】

株式会社博報堂 D Y ホールディングス グループ広報・IR 室 中田・平原・江渡
TEL:03-6441-9062 e-mail:koho.mail@hakuhodo.co.jp